石谷新聞

07.11.No127
発行責任 南岡日出夫

オーナーの皆さん そば刈り終える

ばあばあ連

今月にそばまきをし、順調に成育、今年は、台風もなく楽しみにしていたそば刈り。そばオーナーの皆さんは、十月二十日～二十一日にかけて、十五人が参加して刈り終えました。

二十日前には、オカリナコンサートもあり、祖谷の空気がオカリナの素朴な音色とマッチして、昔間かそば刈りの疲れも忘れるほどだったそうです。

また、この日は、特別参加で岡本さん宅に取材に来てりたフランス人も三人加わって一緒ともりあがったと言われていました。

ある人のフランス語が本物であることが証明されたという事もあったそうです。

「今年のオーナーの皆さんは、そば刈りが上手」だったと祖谷の人の話もありましたよ。

祖谷村の畑でも、オーナーの皆さんより数日早くそば刈りをやりました。

ばあばあ連の皆さんの、会話と腕ざばきで、順調に刈り進み、午前中に刈り終え、午后には束をして、ハデにかけました。

束まで、仕事をする事は、いろんな意味で元気が出てきます。いろんな発見もあります。

なぜか、煙草が一本育って、美しいピンクの花を咲かせていました。長い間、土の中で眠っていたのかもしれません。それにしても不思議ですね。来年を期待していいのかな？

↑そばオーナーの皆さん

タバコの花

↙ばあばあ連

三嶺 山頂トイレ 道普請 クリーン作戦

10月14日

三嶺のコメツツジも紅くそまってきました。リンドウの青がとてもきれいです。

十月十四日、トイレクリーン作戦が実施されました。高知の皆さん今の皆さんや、徳島の皆さん合の皆さん二十七人の参加でした。

今回で二回目ですが、この所、三嶺の人気が高まって、その分、トイレの使用も多くなり、早く満杯になりそうでした。

今月(10月)徳島県による山頂部の登山道の補修工事が予定されていて、ヘリコプターが飛ぶことになり、急きょ実施することになりましたが、これでまた少し安心です。

当日参加された皆さんご苦労さんでした。三嶺をはじめ祖谷の山々や自然に目をむけて頂いて、田舎を盛ってしている者にとっては、嬉しい限りです。

紅葉の祖谷歩く

「今年は暖かくて、果して紅葉するんだろうか」と心配していましたが、ジャストタイミングでした。28日計画していた「ちょっと遠くて紅葉の祖谷を歩くかえ」のハイキングは、天気よし、紅葉よしのハイキング日和。

西山地区から菅生、いやこの温泉までの十一㎞。大変気持よく、ゆったり、のんびり歩きました。そして、遠く寒峰、矢筈、菅合峠。そして遠下方向など祖谷の山々が紅や黄に染っているのに感動しました。

その上、参加した皆さんの話の面白かったこと。十一㎞は、いつの間にかいやこの温泉の終点。疲れも感じず、ただ心持よさが残りました。

ほんとうにあっという間でした。来月号では祖谷の紅葉が載ります。乞ご期待。それより祖谷へ来て